

日本比較文化学会中部支部第4回大会

I. 大会日程 2013年10月5日(土)

II. 大会スケジュール 13:00～17:00 (※敬称略)

・12:30～ 受付

・13:00～ 開会の挨拶 中部支部長：岡本武昭

総合司会：安藤雅之(常葉大学教職大学院)

【第1部】(13:05～14:20)

○基調講演(13:05～13:35)

「比較文化とは？－学会創設から中部支部誕生まで－」

太田敬雄(日本比較文化学会名誉会長, 国際比較文化研究所長)

○公開討論会(13:35～14:20)

「今、改めて「比較文化」を考える」

岡本武昭(中部支部長)

加瀬谷恵(国際比較文化研究所)

太田敬雄(前掲)

コーディネーター：川口雅也(浜松学院大学)

【第2部】(14:30～16:50)

○自由研究発表(一人発表25分+質疑応答10分)

・16:50～ まとめと閉会の挨拶 中部支部副支部長：安藤雅之

III. 会場 浜松学院大学 布橋キャンパス 1号館1101教室

懇親会

※浜松駅近辺, お一人4,000円程度の居酒屋, 当日参加受付

IV. 会場までのご案内



※ 〈http://www.hgu.ac.jp/univ_hp/guide/access.html〉より転載

【遠鉄バス】（所要時間約 13 分）

JR 浜松駅北口バスターミナル 1 番ポール発車のいずれかのバス

- | | |
|----------------------|----------------------|
| [30] 舘山寺線（舘山寺 村櫛方面行） | 「浜松学院大」下車 [片道 180 円] |
| [36] ゆう・おおひとみ ひとみヶ丘線 | 「浜松学院大」下車 [片道 180 円] |
| [37] 神ヶ谷 山崎線 | 「浜松学院大」下車 [片道 180 円] |

自由研究発表

1号館 1101 教室

10月5日(土) 14:30~16:50

(※敬称略)

司会：澤田敬人（静岡県立大学）・白鳥絢也（星槎大学）

14:30~15:05

「海外の日本語教育ネットワーク形成に関する考察
—中米・カリブ地域を中心に—」

荒井美幸（同志社大学日本語・日本文化教育センター）

15:05~15:40

「日韓母語話者の再勧誘行動について—異文化間語用論からの考察—」

鄭 在恩（名古屋大学大学院）

15:40~16:15

「米国におけるテレノベラの普及とソープ・オペラの衰退」

塚本美穂（京都外国語大学大学院）

16:15~16:50

『ボヴァリー夫人』における「新しい女」の可能性
—『女の一生』との比較を通じて—

水町いおり（名古屋市立大学大学院）

※発表時間は、研究発表1件につき35分です。（うち発表25分、質疑応答10分）

研究発表要旨

【テーマ：改めて「比較文化」を見つめる】

①荒井美幸（同志社大学日本語・日本文化教育センター）

「海外の日本語教育ネットワーク形成に関する考察

－中米・カリブ地域を中心に－

海外では、同じ地域にいる日本語教師の連携が図られていない場合が多く、知識の共有や経験の継承がなされにくいいため、ネットワーク形成の重要性が指摘されている。本研究では、中米・カリブ地域のネットワーク形成の事例と、他地域の事例とを比較し、持続可能な日本語教育ネットワークのあり方について考察する。

②鄭 在恩（名古屋大学大学院）

「日韓母語話者の再勧誘行動について－異文化間語用論からの考察－」

本研究は、日本語母語話者と韓国語母語話者における再勧誘行動を談話完成テストと意識調査のデータから分析し、その結果を異文化間語用論の観点から考察を行ったものである。

③塚本美穂（京都外国語大学大学院）

「米国におけるテレノベラの普及とソープ・オペラの衰退」

本発表では、愛憎劇のメロドラマ番組であるテレノベラの進展と、米国におけるソープ・オペラの衰退について比較考察する。

④水町いおり（名古屋市立大学大学院）

「『ボヴァリー夫人』における「新しい女」の可能性

－『女の一生』との比較を通じて－

発表の目的は、『ボヴァリー夫人』の主人公であるエンマの「新しい女」としての可能性を明らかにし、『ボヴァリー夫人』の新たな読み方を提案することである。そのため、本発表では、主人公の「言葉」に着目して、両作品をジェンダー的視点で分析してみたい。